日本野球の父、日本社会主義運動の父・安部磯雄

2015 年は安部磯雄（1865～1949 年）の生誕 150 年です。彼は統一基督教弘道会会長、社会民主党・社会民衆党の創立者で「日本社会主義運動の父」、そして早稲田大学教授にして「日本野球の父」です。友愛労働歴史館は生誕 150 年を記念し、企画展「日本野球の父、日本社会主義運動の父・安部磯雄」（2015.03.09～07.14）を開催いたします。

第一部　安部磯雄の生涯―1865 年～1949 年―

安部磯雄は新島襄の同志社に学び、卒業後、ハートフォード神学校やベルリン大学で学んでいます。1894（明治 27）年に帰国し、同志社中学を経て 1899 年に東京専門学校（早稲田大学の前身）の講師（後に教授）になります。彼は社会民主党の結党、日本フェビアン協会の設立、社会民衆党の創立などを主導し、また公娼制度の廃止や産児制限、婦人解放運動にも積極的に関わっていました。さらに安部は、日本野球の発展に貢献したことでも知られています。第一部では安部磯雄の生涯について、写真や年譜で紹介・解説いたします。

第二部　ユニテリアン・安部磯雄―ユニテリアン教会時代を中心に―

安部磯雄は 1879（明治 12）年、同志社英学校に入学し、在学中、新島襄から洗礼を受けます。1884 年に卒業し、神学科に進むが、伝統的な神学への疑問、ストライキ騒動の責任を取って村井知至とともに自主退学。その後、ハートフォード神学校やベルリン大学で学びます。帰国後の 1895（明治 28）年、岡山教会に復帰。1897 年に同志社中学教員となり、1899 年に上京して東京専門学校の講師になります。この頃、日本ユニテリアン協会に加入します。1902 年、協会の内紛により一旦、退会しますが、1909 年に復帰し、日本ユニテリアン協会会長となります。第二部では安部磯雄について、ユニテリアン教会時代を中心に紹介・解説いたします。

第三部　日本社会主義運動の父・安部磯雄―社会主義研究会・社会民衆党を中心に―

1898（明治 31）年、安部磯雄や村井知至（左写真）らユニテリアンを中心に社会主義研究会（会長・村井知至）が創立されます。これが社会主義協会を経て 1901（明治 34）年、日本で最初の社会主義政党・社会民主党へ発展します。また、安部は 1926（大正 15）年、社会民衆党（戦後の社会党、民社党）を結党。社民党は 1932（昭和 7）年に社会大衆党へと発展し、戦前期の日本社会主義運動のピークを迎えます。安部磯雄は、社会民主党や社会民衆党の創立を主導したことにより「日本社会主義運動の父」とされます。第三部では安部磯雄と社会主義運動について、社会主義研究会・社会民衆党を中心に紹介・解説いたします。

第四部　日本野球の父、学生野球の父・安部磯雄

安部磯雄は日本野球の発展に尽くしたことでも知られています。1901（明治 34）年に早稲田大学野球部の初代野球部長に就き、1905（明治 38）年には同野球部を率いてアメリカ遠征を行っています。安部は日本野球の発展に尽くしたことにより「日本野球の父」「学生野球の父」とも呼ばれ、没後の 1959 年に創設された日本野球殿堂入りを果たしています（写真は野球殿堂博物館の安部磯雄レリーフ）。第四部では安部磯雄と野球の関わりについて、紹介・解説いたします。